

## ペスタロッチー教育賞 受賞者紹介

### 宮城 まり子 氏

東京都に生まれる。1968年、静岡県小笠郡浜岡町に、日本ではじめての肢体不自由児養護施設「ねむの木学園」を開設し、全身全霊をもって、子どもたちとの生活に取り組まれている。すべての子どもたちのもてる才能を信じて活動し、教育の結果、そこで生まれた子どもたちの優れた絵や詩が、多くの人々の感動を呼んだ。1979年、長年の嘆願の末、我が国最初の肢体不自由児施設と併設された「学校法人ねむの木学園ねむの木養護学校」を開校し、子どもたちの生活と教育の両面を担われている。また、子どもたちが成人になると施設を出ていかなければならない現状を訴え続け、それが結実し、「肢体不自由児(者)療護施設」が国の新しい制度としてつくられた。映画『ねむの木の詩』『ねむの木の詩がきこえる』『虹をかける子どもたち』は、氏の制作・監督・作曲・シナリオ・出演により、国内ならびに海外において数々の賞を受けた。

氏は、本日の記念講演演者、村井実氏により、「シュタンツのペスタロッチー」に比され、また氏自身、「ペスタロッチーは真実と勇気と力を与えてくれる私の守り神である」と述べておられる。